

ワークショップで学ぶ

児童センター・児童クラブにおける 子どもにやさしいまちづくりをめざした 取り組み

9月12日(金) 9:30～12:00

南相馬市役所本庁舎(2階正庁)

「子どもにやさしいまちづくり」は、地域で暮らす子どもひとりひとりに適切な保護と参加が保障され、本来持つ力を発揮しながら成長発達する社会の実現をめざして、国連ユニセフが提唱している活動です。

東日本大震災によって被災した子どもや子育て家庭の復興に関わる全体像は、いまだ見えていない中、子どもや子育て家庭のしあわせをどのように取り戻したらよいのでしょうか。また、子どもや保護者達のエンパワメントはどのように促進したらよいのでしょうか。

南相馬市において「子どもにやさしいまちづくり」を進めていくために、東日本大震災子ども支援に深くかかわってきた経験を生かしたワークショップを通じて、市民、NGO/NPO、研究者、行政が子どもと一緒に、子どもの声を聞き取り、まちづくりのプロセスに子どもの参加を進め、子どもが今を生きる主体として支えられることの意義と方法を学びます。

皆様の参加をお待ちしています。

<講師・ファシリテーター>

森田明美：東洋大学社会学部教授、東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長

浜田進士：元関西学院大学准教授、子どもの権利条約総合研究所 関西事務所所長

日時：9月12日(金) 9:30～12:00

場所：南相馬市役所本庁舎(2階正庁)

南相馬市役所：南相馬市原町区本町二丁目27番地

申し込み不要・参加費無料

対象・定員：南相馬市の児童センター・児童クラブにおいて子どもたちにかかわっている方、

テーマに関心のある行政職員、市民、学生などどなたでも

主催：子どもの権利条約総合研究所 後援：南相馬市教育委員会

【問い合わせ先】子どもの権利条約総合研究所東洋大学分室

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学森田明美研究室気付 TEL03-3945-7481